

# 佐賀県感染症発生動向調査速報

平成16年第35週 平成16年8月23日(月)～平成16年8月29日(日)

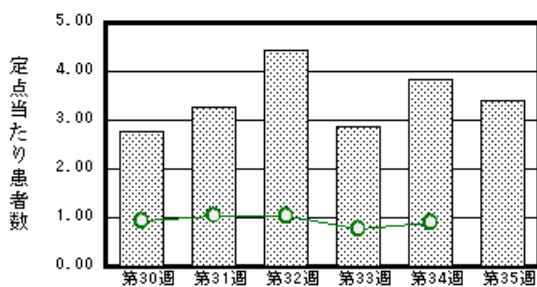
<http://www.kansen.pref.saga.jp>

佐賀県感染症情報センター

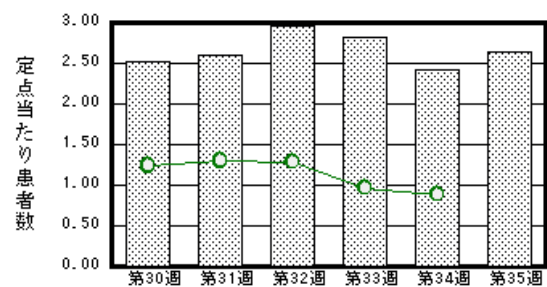
## 注目疾患の動向

- 【報告数の多い疾患】 流行性耳下腺炎 (78名) 手足口病 (61名) 突発性発疹 (44名)  
水痘 (29名) 感染性胃腸炎 (24名)
- 【流行性耳下腺炎】患者報告数が減少しました (8名 78名)。
- 【手足口病】患者報告数が増加しました (6名 61名)。過去5年間の同時期と比較して報告数が多くなっています。

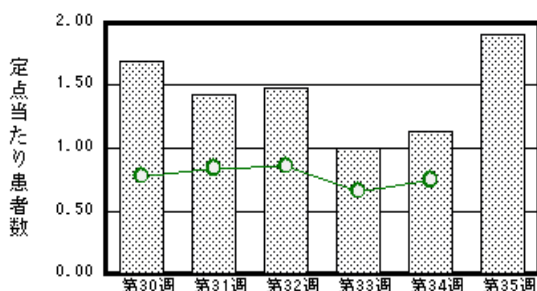
流行性耳下腺炎



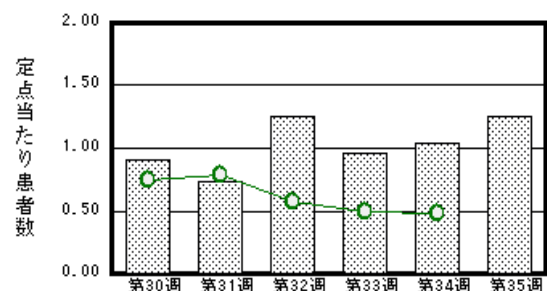
手足口病



突発性発疹



水痘



棒グラフは佐賀県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

各疾患の動向グラフについては佐賀県感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://www.kansen.pref.saga.jp>

## 全国版感染症週報 (DWR) 2004年第33週号 (8月9日～8月15日) 要点

・ 発生動向総覧	< 第33週 > 咽頭結膜熱 - 定点当たり報告数は第30週からは減少しているが、相変わらず、過去10年間の当該週と比較して最高値を示している / その他最新動向 < 7月 > 性感染症・薬剤耐性菌感染症・結核について
・ 注目すべき感染症	< 腸管出血性大腸菌感染症 > 第33週の現段階での報告数は201例で、1週間の報告数としては第29、31、32週に次いで多かった
・ 病原体情報	ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌2004年 / ヒトから検出されているアデノウイルス3型&2型2004年 / ヘルパンギーナ患者から分離されているウイルス2004年
・ 速報	多様な診断名の検体からのアデノウイルス3型の検出 - 岩手県 / 髄膜炎患者からのエコーウイルス30型の分離 - 福島県
・ 海外感染症情報	トインフルエンザ: 中国でプタからH5N1を検出 / チャドでのE型肝炎 / ベトナムでのトインフルエンザの状況 / 中国での2004年第2四半期法定伝染病報告・死亡統計
・ 感染症の話	< 今週はお休みです >

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://www.idsc.nih.go.jp>

# 佐賀県感染症発生動向調査速報

http://www.kansen.pref.saga.jp

佐賀県感染症情報センター

## 全数届出の感染症 (佐賀県)

疾病名	破傷風 (五類感染症)	
患者	1名 (50歳代・男性)	
平成16年届出累計	1名	
平成15年	同 期	0名
	届出累計	0名

破傷風は、破傷風菌が産生する毒素によって、神経症状を引き起こす感染症です。破傷風菌は全世界の土壌中に広く分布し、おもに傷口についた土壌などから感染します。

破傷風について詳しくは、国立感染症情報センター「感染症の話」をご覧ください。

[http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k02\\_g1/k02\\_15/k02\\_15.html](http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k02_g1/k02_15/k02_15.html)

## 佐賀県感染症発生動向調査

定点報告 (五類感染症 (週報分))

平成16年第35週

平成16年8月23日 (月) ~ 平成16年8月29日 (日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	佐賀中部 保健所	鳥栖 保健所	唐津 保健所	伊万里 保健所	杵藤 保健所	計	前週	全国 (第34週)	
インフルエンザ (39)	インフルエンザ (高病原性鳥イン フルエンザを除く)								6 0.00	
小児科 (23)	RSウイルス 感染症								19	
	咽頭結膜熱	2 0.25	3 1.00		1 0.33		6 0.26	15 0.65	1484 0.49	
	A群溶血性レン サ球菌咽頭炎		7 2.33	1 0.25			8 0.35	16 0.70	1283 0.43	
	感染性胃腸炎	7 0.88	8 2.67			9 1.80	24 1.04	33 1.43	6829 2.26	
	水痘	9 1.13	1 0.33	8 2.00	3 1.00	8 1.60	29 1.26	24 1.04	1440 0.48	
	手足口病	17 2.13	11 3.67	8 2.00	16 5.33	9 1.80	61 2.65	56 2.43	2687 0.89	
	伝染性紅斑	1 0.13	3 1.00	4 1.00	2 0.67	1 0.20	11 0.48	4 0.17	461 0.15	
	突発性発しん	6 0.75	7 2.33	14 3.50	7 2.33	10 2.00	44 1.91	26 1.13	2252 0.75	
	百日咳								42 0.01	
	風しん								33 0.01	
	ヘルパンギーナ	2 0.25	2 0.67			3 1.00	2 0.40	9 0.39	18 0.78	2557 0.85
	麻しん (成人 麻しんを除く)								22 0.01	
流行性耳下腺炎	14 1.75	10 3.33	38 9.50	7 2.33	9 1.80	78 3.39	88 3.83	2729 0.90		
眼科 (4)	急性出血性結膜炎								20 0.03	
	流行性角結膜炎					1 1.00	1 0.25	3 0.75	623 0.98	
基幹 (6)	細菌性髄膜炎								8 0.02	
	無菌性髄膜炎	1 0.50					1 0.17	2 0.33	43 0.09	
	マイコプラズマ肺炎			3 3.00			3 0.50	1 0.17	105 0.22	
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)								3 0.01	
成人麻しん								1 0.00		

インフルエンザは、小児科定点 + 内科定点。

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。全国の集計は33週分(患者報告数)である。

佐賀県感染症発生動向調査 (定点報告 :五類感染症)

平成16年第35週 平成16年8月23日(月)~平成16年8月29日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ (高病原性鳥イン フルエンザを除く)	小児科 定点	RSV ウイルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルバ ンギー ナ	麻しん (成人 麻しん を除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科 基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコバ ラズマ肺 炎	クラミジア 肺炎(オ ウム病を 除く)	成人麻し ん	
6ヶ月未満		6ヶ月未満								1						6ヶ月未満								
12ヶ月未満		12ヶ月未満				3	2	8		30						12ヶ月未満					1			
1歳		1歳		1		7	6	21		11			4		1	1歳					1			
2歳		2歳		2	2	4	1	12		2			4		7	2歳								
3歳		3歳		2		2	9	9	4						15	3歳								
4歳		4歳			1	2	8	3	2						12	4歳								
5歳		5歳			1		2	5	2				1		15	5歳								
6歳		6歳			2		1		2						9	6歳					1			
7歳		7歳				3									7	7歳				1				
8歳		8歳			1										7	8歳								
9歳		9歳		1				1							2	9歳								
10歳~14歳		10歳~14歳			1	1		1	1						2	10歳~14歳								
15歳~19歳		15歳~19歳														15歳~19歳								
20歳~29歳		20歳以上				2		1							1	20歳~29歳								
30歳~39歳																30歳~39歳								
40歳~49歳																40歳~49歳								
50歳~59歳																50歳~59歳		1						
60歳~69歳																60歳~69歳								
70歳~79歳																70歳以上								
80歳以上																								
合計		合計		6	8	24	29	61	11	44			9		78	合計		1		1	3			
前期計		前期計		15	16	33	24	56	4	26			18		88	前期計		3		2	1			
当期間/前	***	当期間/前	***	0.4	0.5	0.73	1.21	1.09	2.75	1.69	***	***	0.5	***	0.89	当期間/前	***	0.33	***	0.5	3	***	***	
増減数		増減数		-9	-8	-9	5	5	7	18			-9		-10	増減数		-2		-1	2			

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

\*\*\*は前期計が"0"のとき

